



ふくい

市議会だより

No.205

平成29年5月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



上: 福井市と結城市の友好都市提携15周年記念に伴う議長表敬(4月14日: 議長応接室にて)

※左から青木福井市議会副議長、皆川福井市議会議長、中田結城市議会議長、早瀬結城市議会副議長

下: 来福された結城市議会議員団(4月15日: 福井城址内結城秀康公像前にて)

主な内容

- 主な議案……………P2
- 委員会審査……………P3
- 一般質問……………P4～9
- 予算特別委員会……………P9～10

結城市正副議長が福井市正副議長を表敬訪問

福井市と結城市は、初代福井藩主 結城秀康公の歴史的な繋がりをきっかけとして、平成14年4月13日に友好提携しました。

そこで、友好都市提携15周年を記念し、結城市議会正副議長が福井市正副議長を表敬訪問しました。

そのほか、市政に対する一般質問を22人の議員が行い、3月22日、予定した日程を全部終え閉会しました。

3月定例会は繰り上げ招集され、2月21日から3月22日までの30日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成29年度福井市一般会計予算をはじめとする各会計予算及び平成28年度各会計補正予算」、「福井市観光・文化施設における共通観覧券の発行に関する条例の制定について」、「福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について」、「福井市認定こども園設置条例の一部改正について」、「福井市消防団条例の一部改正について」など市長提出の議案43件、報告1件を審議した結果、議案はいずれも原案どおり可決、報告は1件を受理しました。

また、議員提出議案として、「参議院議員選挙制度における合区の解消を求める意見書について」を審議した結果、原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

3月
定例会

平成29年度当初予算を可決

平成29年度 各会計予算総括表

(単位:千円)

会計区分		予算額
一 一般会計		108,438,000
特別会計	国民健康保険	28,508,000
	国民健康保険診療所	3,500
	後期高齢者医療	3,500,000
	介護保険	25,292,000
	競輪事業	11,196,000
	簡易水道	430,000
	宅地造成	1,623,000
	中央卸売市場	794,000
	駐車場	147,000
	集落排水	825,500
	地域生活排水	173,000
	福井駅周辺整備	1,021,000
企業会計	下水道事業	18,068,000
	ガス事業	3,820,000
	水道事業	7,445,000
合計		211,284,000

平成29年度当初予算

国の平成29年度当初予算は、雇用・所得環境の改善や景気回復の見通しから、まち・ひと・しごと創生事業費の確保や公共施設の老朽化対策の推進を含め、平成28年度の水準を4,000億円上回る62兆1,000億円の一財源総額を確保する内容となっております。

本市の当初予算編成は、第七

次福井市総合計画の初年度にあたることから、総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、事業の着実な推進を図ることを基本としています。また、中核市への移行を見据えて事業の見直しにも取り組み、行財政改革を進めるとともに、『みんなが輝く全国に誇れるふくい』の実現に向けて着実な一歩を踏み出す予算として編成したものです。(各会計予算は左記の表参照)

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10頁11頁に掲載しています。

【予算のポイントとなる事業】

① 快適に暮らすまち

- ・市街地再開発事業等支援事業
- ・おもてなし商業エリア創出事業
- ・東京deふるさと福井創生事業
- ・バス利用促進事業
- ・北陸新幹線建設整備事業
- ・足羽山魅力向上事業

② 住みよいまち

- ・消防情報管制システム整備事業
- ・介護保険総合事業
- ・クールチョイス推進事業
- ・女性消防団員活動事業
- ・AEDコンビニ設置事業
- ・生活困窮者支援総合窓口設置事業

③ 活き活きと働くまち

- ・園芸技術研修施設整備事業
- ・繊維産業稼働力向上事業
- ・みらくる亭大規模改修事業
- ・周遊滞在型広域観光推進事業
- ・水産物販売強化支援事業

平成28年度補正予算

今回の補正予算は、国の一億総活躍社会の実現に向けた喫緊の課題に呼应するもののほか、事業費の確定などに伴い措置するものです。足羽山の魅力を高めるため、遊園地内に親子で楽しめるふれあい動物舎整備事業、臨時福祉給付金給付事業、小学校の音楽室に空調設備を設置する音楽室エアコン設置事業、

高齢者が利用する施設の安全を確保するための高齢者施設等防犯対策強化事業などに取り組みため、一般会計で27億5,455万1,000円を増額するなど、補正後の予算額は全会計で2,279億1,533万3,000円となります。

条例

○福井市観光・文化施設における共通観覧券の発行に関する条例の制定について

本市の観光・文化施設を一定期間内利用できる共通観覧券を発行するものです。

○福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市えち鉄田原町駅自転車駐車場を新たに設置するものです。

○福井市認定こども園設置条例の一部改正について

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため、福井市轄こども園及び専こども園を設置するものです。

○福井市消防団条例の一部改正について

消防団員の定員を増やして女性消防団員を任用することにより、地域防災力の充実強化を図るものです。

人事案件

選挙管理委員及び同補充員

平成29年3月25日をもって任期満了となる選挙管理委員及び同補充員に次の各氏が当選されました。

【委員】

藤井 健夫 小林 範雄

出見 隆文 岩永 佳代子

【補充員】

玉木 洋 益永 哲郎

佐野 俊和 吉川 奈奈

人権擁護委員

平成29年3月31日をもって任期満了となる佐藤辰弥氏、植山佳子氏、茂呂信吾氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案(議員提出議案)

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○参議院議員選挙制度における合区の解消を求める意見書について

委員会審査

特別委員会、各常任委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(日程順に掲載)

競輪事業対策特別委員会

《競輪事業の経営改善に向けた取り組みについて》

問 平成29年度から競輪事業に精通した営業担当専門官を配置し、営業活動を強化することのことだが、どのような人を何名採用することを考えているのか。

答 営業担当専門官はこれまで本市の競輪事業に関係した退職者を中心に人選を進めており、1名を採用する予定である。

《今後の施設整備を目的とした新たな基金の創設について》

問 現在の競輪事業基金との役割の違いやメリットなどをどのように考えているのか。

答 競輪事業基金は財政調整機能として必要であり、それとは別に施設整備基金を創設する場合には、今後安全に事業を継続していくために老朽化している施設の改修等に限定して充てることを想定している。また、メリットとしては、このような目的の基金への積立が、地方公共団体金融機構への納付金の対象となる収益からは除かれるという点がある。

総務委員会

《福井市消防団条例の一部改正について》

問 女性消防団が災害現場に出動するのは、大規模災害が発生した場合のみを想定していることだが、偶然火災現場等に遭遇した場合、応急手当などをすることも現実的にはありうると思うが、問題はないのか。

答 女性消防団の活動は、AEDの取り扱い方や応急手当の普及啓発であるが、偶然、火災現場等に遭遇した場合、応急手当などを行うことは問題ないと考えている。

問 女性消防団と各地区の消防団は別組織となっているが、連携はしないのか。

答 分団詰所には女性用の更衣室や、トイレ、シャワーなどの設備が整っていないことから、消防局所管としたが、平成30年度には女性第1分団、女性第2分団に、それぞれ担当区域を割り当て、各地区の消防団と連携をとりながら、市民に対して応急手当の普及啓発などを行っていく予定である。

《市民税について》

問 前年度予算と比較して、個人市民税は増額、法人市民税は減額を見込んでいるが、その根拠は何か。

答 個人市民税については、前年の給料の伸びを反映して平成29年度予算では増額を見込んでいる。また、法人市民税については、平成28年度は、円高やアメリカ大統領選挙、中国経済の鈍化等、様々な要因の影響を受けて企業収益が下がっており、平成29年度についてもそういったことが予想されるため、企業の減益を見込んで減額とした。

建設委員会

《土地の取得について（駐車場整備用地）》

問 取得する下助生田町地係の土地は、団体の駐車場として利用した後は農業振興などの各種施策に活用していくことだが、どのようなことを考えているのか。

答 新規就農者支援施設が近くに整備されるため、その利用者の駐車場として活用することや、広い面積を生かして、農産物をトラックの荷台に積んで販売するトラック市の場所として活用することも考えている。

《ふれあい動物舎整備事業について》

問 足羽山のふれあい動物舎はデッキ通路を使って上り下りする設計となっているが、高齢者や障害者に配慮し、エレベーターを設置するべきではないか。

答 今後設計を進めていく中で、エレベーターの設置を前向きに検討していく。



教育民生委員会

《福井市認定こども園設置条例の一部改正について》

問 認定こども園への移行を進めているが、市内全ての園を対象にしていくなか、計画なのか。

答 公立の幼稚園と保育園の両方がある地区を対象に認定こども園への移行を進めている。それ以降については、幼稚園や保育園の状況を総合的に把握する中で検討していく。

《教育用コンピュータ運営整備事業について》

問 教育用コンピュータのタブレット端末への切りかえは完了したのか。

答 小学校は完了したが、中学校は現在のコンピュータのリースが切れる2年後を目途に順次タブレット端末に切りかえていく予定である。

問 リース料の中には管理運営費は含まれているのか。

答 リース料の中にはタブレット端末だけではなくサーバーの管理料、インターネットの使用料など管理運営に係る経費が含まれている。

経済企業委員会

《福井市観光・文化施設における共通観覧券の発行に関する条例の制定について》

問 より多くの人に共通観覧券を使ってもらうためにどのような周知方法を考えているのか。

答 市民向けには公民館などの施設にチラシを置くとともに、観光客に対してはタクシース会社やレンタカー会社、旅行会社などを通じて周知していく。

《園芸技術研修施設整備事業について》

問 新しくできる施設と現在ある園芸センターとの違いは何か。

答 園芸センターは主に一般市民向けの園芸講習を行っているが、新しく整備する施設では、複合経営を進める農家や兼業農家など、主に園芸を専門として出荷する人を対象に研修を行い、園芸作物の生産額を増やすことを目的としている。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、2月27日から3月1日までの3日間、22人の議員が一般質問を行いました。
※ 議員名の前の番号は質問順、()内は党派名、質問内容の掲載は大項目のみです。(敬称略)

<p>① 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 平成29年度当初予算について</p>	<p>② 石丸 浜夫 (志政会)</p> <p>1 人口減少に伴う地域の課題に対する施策について</p>	<p>③ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 文化振興と文化会館の建て替えについて 2 防災について</p>
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 人口減少対策について 2 防災・減災対策について 3 公営企業の経営について 4 学校施設の老朽化対策について</p>	<p>⑤ 見谷 喜代三 (一真会)</p> <p>1 福井市の今後の農業展望について</p>	<p>⑥ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <p>1 文化会館の再整備について 2 市立図書館リニューアル事業について 3 福井市PPP/PFI導入基本方針について 4 電車・バスの利用促進策について</p>
<p>⑦ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 足羽山魅力向上計画について 2 放課後児童健全育成事業について 3 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会に向けた取り組みについて</p>	<p>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 第3次福井市地域福祉計画と貧困対策について 2 原発防災と安定ヨウ素剤の配備について 3 介護保険事業について</p>	<p>⑨ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 歩行者に優しい道路行政について 2 本市のスポーツ振興について</p>
<p>⑩ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 地方創生(ふくい魅える化プロジェクト)について</p>	<p>⑪ 近藤 實 (志政会)</p> <p>1 健全財政計画について 2 福井市水道事業経営戦略の妥当性について 3 平成29年度予算について 4 人事について 5 国際交流及び外国人誘客について</p>	<p>⑫ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 福井市の観光について 2 キャリア教育について</p>
<p>⑬ 後藤 裕幸 (志政会)</p> <p>1 高齢者対策について 2 福井国体への取り組みについて</p>	<p>⑭ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 小学校における英語教育の課題について 2 第七次福井市総合計画について 3 中学校の部活動における競技力の向上と活性化及び指導員について</p>	<p>⑮ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 活力と魅力あふれる商工業について 2 豊かな地域づくりについて 3 福井市におけるPPP/PFI導入可能性の検討について 4 ガーデンシティふくい推進事業について 5 ふれ愛園民間移譲事業について</p>
<p>⑯ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 北陸新幹線延伸の際の並行在来線について 2 事業承継円滑化支援事業について 3 聴覚障がい者への支援について 4 第3次福井市地域福祉計画について 5 市職員の視察派遣について</p>	<p>⑰ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 保育行政について 2 出会い創出事業について</p>	<p>⑱ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 2017年度当初予算と第七次福井市総合計画実施計画について 2 福井市行財政改革指針について 3 マイナンバー制度について</p>
<p>⑲ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 子育て支援について 2 小・中学校での乳幼児ふれあい学習について</p>	<p>⑳ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 次期学習指導要領について 2 園芸技術研修施設整備事業について</p>	<p>㉑ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 運転免許自主返納支援制度について 2 足羽山魅力向上計画について 3 鉄道事業者に関わる観光・国体への取り組みについて</p>
<p>㉒ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 有害鳥獣対策について 2 東京事務所への取り組みについて 3 ワーク・ライフ・バランスについて</p>		

一般質問要旨



いまむら しんかず

今村 辰和 議員

一真会

平成29年度当初予算について

質問

地域の均衡ある発展は、各地域に暮らす市民の満足度の向上のみならず、地域の魅力向上さらには福井市全体の魅力向上につながるかと考える。

当初予算案において、特に美山地区のような過疎地域で、地域の発展に資する地域目線の取り組みとして、どのようなことを行うのか。

回答

美山地区においては、地域の活性化を目的に、里地里山活性化事業の新たな取り組みとして、羽生地区でカフェや農産物などの直売所の整備に

対し支援を行っていく。また、生活環境の向上を目的に、下味見地区の簡易水道の水質改善のため、水源調査に着手する。そのほか、携帯電話基地局の整備や消火力を充実させるため、防火水槽や消火栓の整備を行う。



いしまる はまお

石丸 浜夫 議員

志政会

空き家対策について

質問

国見地区の鮎川町では住宅240軒中60軒が空き家となっており、中には瓦礫が落ちている家があったり、直ぐにでも住めそうな家もある。市内の空き家状況と今後の対策は。

回答

本市独自のデータはないが、総務省統計局が5年に一度実施している住宅・土地統計調査を基に推計すると、市内の空き家等は、平成15年16,890戸、平成20年は20,740戸、平成25年は17,990戸となる。

空き家対策については、平成29年度に空き家の増加を抑制するために福井市空き家等対策計画の策定を予定しており、福井市空き家等対策協議会を設置して、市民の代表や法務、建築、不動産等の学識経験者に委員になってもらい、策定作業を進めていく。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

防災対策について

質問

熊本地震後の住民アンケートでは、避難訓練に加え、安否確認訓練が必要であったとのことだが、本市における対策は。

また、指定避難所以外に避難する人の把握は、どのように行うのか。

回答

毎年6月に実施している総合防災訓練では、指定された公園や空き地などの避難場所に集合し、住民の人数や安否などを確認する訓練を行っている。しかし、隣近所や要配慮者宅を訪ねて安否確認を行う訓練は一部の地区でしか行われていないため、今後はより多くの地区で取り組んでもらえるよう、重要性を周知していく。

指定避難所以外の避難者の把握は、市内居住班員、民生児童委員、自主防災組織などが巡回し、把握する。



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

学校の老朽化対策について

質問

今後10年の間に、築年数が50年を超える学校施設は全体の半分以上になり、老朽化対策は大きな課題だと考える。

人口減少も踏まえた学校のあり方や、大規模改修や改築等の整備について、今後どのように進めていくのか。

回答

市有施設の延床面積全体の約43%を占める学校施設を一斉に改築することは困難であることから、改築あるいは長寿命化を総合的に判断し、施設マネジメント計画に沿って適切な対策を進めていく。

また一方で、児童館や公民館等との複合化や、学校規模適正化や小中一貫校など学校のあり方の新しい考え方も検討していく必要がある。統廃合や校区変更をする場合は、保護者や地域の意向を踏まえることが重要だと考えている。



みに ぎよさく

見谷 喜代三 議員

一真会

平成29年度予算における農産物のブランド化について

質問

農業所得の向上には、産地化を進めることに加えて、付加価値を高めて知名度を上げるなどの農産物のブランド化が必要だと考えるが、平成29年度予算での取り組みは。

回答

農産物の高品質化・産地化を図るため、JAや物流・小売業者を含めた戦略会議の設置のほか、商標登録や農業生産工程管理の取得による高品質化に向けた取り組みや、三里浜砂丘地の産地再生とあわせ、他地域の産地化を進める。

また、販路開拓・拡大の強化のため、地元食材の旬に合わせて福福館でPR販売イベントを開催し、市民に周知していくほか、東京での福井市フェアの拡大や、台中市での物産展、台北市でのPRイベントを実施する。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

志政会

市立図書館リニューアル事業について

質問

市立図書館は、本市が交通の結節点として位置づける田原町駅に近く、周辺には大学、高校、小・中学校があることから、リニューアル後は、まちづくりの拠点的位置づけにしていくことはできないか。リニューアルに向け、本市としてどう考え、今後どのような計画で進めるのか。

回答

リニューアルする市立図書館は、従来の「本を読む、借りる」ことが中心の図書館ではなく、幅広い年齢層の多くの市民が学習し、集い、交流できる図書館を目指す。そして、周辺の教育文化施設や商店街と連携して、まちづくりの拠点施設となる図書館にしていきたいと考えている。

今後は、リニューアルに向け、2年間で整備に関する基本構想、基本計画を策定する。



かたや しゅういち

片矢 修一 議員

市民クラブ

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会に向けた取り組みについて

質問

いよいよ来年国体が開催されるが、まだまだ市民の認知度は低い。今後どのように機運を盛り上げていくのか。また、ボランティアの登録状況が心配されるが、現在の登録状況及び今後の見通しは。

回答

国体・障害者スポーツ大会の成功を目指して、市民には競技会場や駅などに花を設置する「花いっぱい運動」の育て親や、各都道府県選手を応援する「手づくり応援のぼり旗」の制作、おもてなし料理のふるまいなど、開催に向けた準備に参加してもらおうことで、機運を盛り上げていく。

また、ボランティアは今年2月現在284人が登録されている。今後も引き続き、学校や企業、団体への訪問等を行い、登録を要請していく。



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

貧困対策の強化を

質問

市民の暮らしぶりや、貧困を示す様々な指標を見ると、本市で貧困が広がっており、子どもの貧困の広がりも看過できない。市として貧困対策や世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るための施策を拡充するべきではないか。

回答

子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されるのではないよう、貧困の連鎖を断ち切らなければならないと考えている。教育費・学費の支援の強化が貧困の連鎖を断ち切る要因の一つと認識しており、平成30年4月に中学校に入学する児童への入学準備金を3月に支給できるよう当初予算に計上し、小学校入学予定の児童についても今後検討する。また、クラブ活動費などの支給も調査・研究する。



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

歩行者に優しい道路行政について

質問

昨年12月に無電柱化の推進に関する法律が施行されたことを受けて、本市も高齢者や障がい者のスムーズな歩行環境や景観保全などのメリットから無電柱化を進めてはどうかと思うが、現況や今後の取り組みは。

回答

昭和61年度から無電柱化推進計画に沿って、歴史的町並みや景観の保全のため、無電柱化を実施している。市内では無電柱化計画整備延長22・5kmのうち20・8km、92・5%を平成27年度末までに整備した。

今後は国の動向を注視しながら、国の方針に添って県や電力事業者等と連携して、現計画の改訂の準備をしていく。



はつた いちい

八田 一以 議員

一真会

地方創生について

質問

福井市の地方創生は平成29年度に戦略策定3年目の正念場、本格的な事業展開を行うべき年になると考え、関連する予算の規模及び地方創生の柱になる「ふくい魅える化プロジェクト」の状況は。

また、連携中枢都市圏の形成の進捗状況は。

回答

平成28年度補正予算及び平成29年度当初予算において101事業、52億8,279万3,000円と事業数、事業費とも増強して計上している。ふくい魅える化プロジェクトについては、平成28年度6月補正予算の議決をいただき、3月末までに予算執行を完了する。

また、連携中枢都市圏の形成については、本年度は嶺北一円の市町に必要性を訴え、連携すべき分野を検討した。



こんどう みのる

近藤 實

志政会

財政調整基金について

質問

歳入のうち、繰入金は15億9,000万円で、主な内訳は財政調整基金からの8億円であります。財政調整基金をこの通り取り崩すと平成29年度末の残高は約12億円になるが、この状況をどう考えているのか。危険水準まで減っていないか。

回答

財政調整基金の適正な水準は具体的に示されていないが、一般的に標準財政規模の10%程度と言われており、平成29年度当初予算における同年度末の残高は標準財政規模の約2%になる見込みである。

今後、適正な予算執行や事業内容の精査、広告収入などの新たな財源の確保に取り組むなど、できる限り基金を取り崩さないように努めていく。



たなか よしのり

田中 義乃

一真会

福井国体・プレ大会を活用したスポーツツーリズムについて

質問

福井国体やプレ大会を活用したスポーツツーリズムについて、県外から福井を訪れる多くの選手、競技関係者の方に福井の観光地をアピールする絶好のチャンスと捉えるが、どのような取り組みをするのか。

回答

福井国体やプレ大会で福井を訪れる選手や観客の方に、競技後に福井の観光を楽しんでもらえるように福井駅や競技会場に案内所を設置し、おすすめの周遊コースや食事・宿泊先などの情報提供を行う。

また、練習試合等で福井を訪れる学生団体には、合宿期間中の宿泊費と、観光地訪問を含む地域交流費の助成を実施している。



こうとう ひろゆき

後藤 裕幸

志政会

高齢者対策について

質問

ひとり暮らし等の高齢者世帯が増加する中で、行政としてどのような支援対策を講じているのか。

回答

緊急時の連絡先や健康状態などを事前に登録する制度を設け、必要に応じ民生委員等が安否確認を行ったり、在宅での急病や事故等に対して迅速な救護体制がとれるよう緊急通報装置の無料レンタルや、安否確認等を目的とした乳酸菌飲料の無料配布等を行っている。また、福井・福井南警察署と高齢者支援に係る相互連携協定を締結し、情報共有を進めたり、福井市あんしん見守りネットワークを発足し、高齢者宅を訪問する機会が多い民間事業者や地域団体の協力により、高齢者の日常生活における異変を早期に発見する仕組みを導入している。



おくしま みつはる

奥島 光晴

一真会

小学校における英語教育の課題について

質問

本市では、平成31年度に英語が小学校5、6年生の教科になる予定だが、教員の英語力について、どのように認識しているのか。また、これに伴い教員の多忙化に拍車がかかると思うが、どのように負担を軽減していくのか。

回答

平成23年度に小学校で外国語活動が始まって以来、教員は県主催の英語力向上研修に参加するなど、指導力の向上に努めており、英語力は年々高まっていると認識している。

また、教員の負担軽減のために、8人のALTが学校を訪問し、外国語活動や学習プリントの作成、授業計画の立案において支援をしている。今後、ALTの増員についても検討していく。



いずみ かずや

泉 和弥

一真会

繊維産業稼働力向上事業について

質問

平成29年度当初予算案に繊維産業稼働力向上事業2,000万円が計上されているが、事業内容と事業費の内訳は。

回答

この事業は、本市の基幹産業である繊維産業を対象に、国内外への販路開拓、新分野・新製品開発、人材育成、事業継承に対して支援することにより、産業の活性化を図るもので、国内販路開拓支援事業に500万円、海外展開支援事業に800万円、新分野展開・新製品開発支援事業に500万円、人材育成支援事業に100万円、事業継承支援事業に100万円を計上している。本市繊維産業の特徴である付加価値の高い商品を生み出す事業者を支援し、繊維産業の国内外での存在感を高めていきたい。



すこう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

聴覚障がい者への支援
について

質問

市庁舎内の主な窓口にはタブレット端末を置き、手話通訳の便宜を図るべきではないか。さらに、ヘルプマークの導入や、昨年末に策定された手話マーク、筆談マークの普及啓発を行うとはどうか。

また、市の総合防災訓練に聴覚障がい者が参加できるように、市が環境を整えるべきでは。

回答

タブレット端末を使うことで、離れた場所にいる手話通訳者による通話が可能になるため、端末の設置について検討する。また、今後は手話マーク、筆談マークについて周知を行い、ヘルプマークについても障がい者の意見を聞きながら導入を検討する。

総合防災訓練については、障がい者団体に対して呼びかけるとともに、訓練会場に手話通訳者を配置するなど、参加しやすい環境整備に取り組む。



よした きんいち
吉田 琴一 議員
市民クラブ

「社会」創出事業」について

質問

これまで14年間にわたり出合い創出事業に取り組んでいますが、この事業の参加者総数と一事業あたりの平均参加人数は何人か。

また、カップル成立数と成婚組数はどれくらいあって、成婚祝はどのようなものを渡すこととしているのか。

回答

参加者総数は約3,800人で、内訳はスウィートハート・パーティーが3,111人で、1回あたり平均80人、ちょこボラ・ちょこかつが346人で、1回あたり平均10人、恋愛・恋々応援事業が343人で、1回あたり平均49人である。

また、カップル成立数は、統計がある過去3年間で56人で、成婚組数は18組の方から自主的に結婚報告をいただいている。なお、成婚祝として、2万円程度のを贈りたいと考えている。



にしむら きみこ
西村 公子 議員
日本共産党議員団

市民生活にかかわる値上げや負担増への軽減策を！

質問

福井市の後期高齢者のおよそ1/3に当たる住民税が課税される1万2,000人の高額療養費の負担上限が引き上げられ、後期高齢者制度の低所得者軽減措置などが縮小・廃止されるが、国に反対することや市として軽減策を講じるべきではないか。

また、児童館併設の放課後児童クラブの夏休み会費の値上げは、委託料を増やして値上げを抑えることや低所得者への軽減策を講じるべきではないか。

回答

今回の後期高齢者医療保険料の改正については、国の社会保障審議会においてしっかりとした議論が行われ、その結果を受けて国が決定したものと理解している。

また、放課後児童会費は、保護者に一定のご負担をお願いしていたが、夏休みの預かり時間が3倍近くになること等から、より多くの職員を配置し、児童の安全を確保する必要があったため、その人件費の一部についてやむを得ず8月のみ追加負担をお願いした。減免措置については、他の自治体を参考にしながら研究していく。



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
志政会

子育て支援について

質問

昨年11月1日にスタートした福井市病児保育施設送迎サービスの現在の登録者数や利用者数はどのような状況か。

また、これまでの取り組みや、今後の展開、展望も含めた市の見解は。

回答

病児保育施設送迎サービスについては、昨年の10月24日から受付を開始し、現在137人の事前登録があり、これまでの利用者は2人である。

これまでの取り組みとして、市内の全ての保育園、認定こども園、幼稚園に対して説明会を開催し、各園を通じて事業の内容を案内した。また、平成29年度も引き続き制度の周知に努め、国、県と協議しながら実施施設の拡充など利便性の向上を図っていく。



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

園芸技術研修施設整備事業について

質問

新規就農者や複合経営を目指す農家等を対象に本市が整備する園芸技術研修施設は、県のふくい園芸カレッジとどのような違いがあるのか。

回答

県のふくい園芸カレッジでは主に新規就農者を対象に、作物の栽培から販売までを行う模擬経営研修と栽培や経営などの知識習得を組み合わせた実践的な研修を、1、2年で集中的に行うことで、即戦力となる人材育成を図っている。本市研修施設では稲作農家で農業経営に新たに園芸品目を導入する認定農業者や、兼業農家などを対象に、野菜の栽培方法などの基礎知識の基本講習に加え、営農実習、販売戦略や農業経営等の講習などを行うことにより園芸出荷額の増加を目指している。



たきなみ しげる

瀧波 滋 議員

志政会

運転免許自主返納支援制度について

質問

これから高齢者の運転免許更新の審査、検査がますます厳しくなり、運転免許を自主返納される方が増えると思うが、今後の本市の取り組みは。

回答

今年の3月から開始する市内各公民館における運転免許自主返納啓発活動に合わせて、周辺の公共交通機関の利用方法等について、積極的に情報提供をしていく。

また、高齢者が外出しやすくなるよう市街地では乗り継ぎ利便性の向上を図るなど公共交通サービスの改善、農山漁村地域等ではコミュニティバス、デマンドタクシーの運行に取り組んでいる。今後により快適で利便性の高い地域の実情に応じた公共交通サービスに努めていく。



ふくの だいすけ

福野 大輔 議員

一真会

有害鳥獣対策について

質問

有害鳥獣による被害が増えているが、狩猟者を増やす方策はあるのか。また、嶺南にあるような有害鳥獣の焼却・加工施設の建設を望む声があるが、本市の考えは。

回答

有害獣の生息数が増加し、狩猟者を増やす必要がある。今後も狩猟免許の取得にかかると経費の支援とあわせ、イベント等において、狩猟の役割や狩猟免許取得についてのPRを行い、狩猟者の育成、確保に取り組んでいく。有害鳥獣の焼却・加工施設に関しては、本市独自に建設することは考えていないが、県が嶺北11市町に対し有害鳥獣の食肉加工処理施設整備計画を示しており、これまで検討会議等を開催してきた。引き続き県や他市町と情報を共有していく。

予算特別委員会

各党派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

堀江 廣海 谷本 忠士
泉 和弥 八田 一以
福野 大輔

志政会

加藤 貞信 藤田 諭
後藤 裕幸 水島 秀晃
近藤 實

○自転車利用について

問 来年度、自転車の駅を増やして56カ所にするとのことだが、自転車の駅がどこにあるのかをもっと周知するべきではないか。

答 今までパンフレットや市のホームページで自転車の駅を紹介していたが、市民に自転車の駅が存在を知ってもらえるよう、今後自転車に関するイベントやその他の情報媒体を通じて、一層周知していく。

○組織機構の改正について

問 市長部局と消防局の人事交流は幹部職員養成のために非常に重要だと思いが、今後も続けていくのか。

答 市長部局と消防局の人事交流は、消防吏員の専門性を発揮して一般行政職等を補充し行政の体制強化を図ること、消防吏員の研修及び人材育成を目的に行っている。本来の消防業務を遂行できる職員数を確保し、消防力の強化・維持を十分に考慮しながら、今後も人事交流を行っていく。

○地域の魅力発信事業について

問 未来創造コースでは、若者のまちづくり活動への支援にふると納税が活用されるとのことだが、どのような制度なのか。

答 未来創造コースでは各活動グループがふるさと納税を呼びかけ、グループを指定して寄附された金額から、必要経費を差し引いた分を翌年度に上乘せして補助することとしている。これにより、各活動グループがより意欲を持って事業に取り組み、制度の目的であるまちづくりの担い手の育成や地域の活性化につながることを期待している。

○まちなかにぎわいの事業展開について

問 郊外地域の活性化を視野に入れた計画はどのようなものがあるのか。

答 郊外地域では、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりから生まれた魅力ある資源を取り入れた観光を推進し

ている。東郷地区では、宿場町の景観を生かした商品開発に取り組んでおり、今年5月に行う関西方面からのバスツアーでは、住民が地酒や東郷米、和紙フェイルなどの特産品市を開催することで、地域の活性化につなげていく。

市民クラブ

玉村 正人 片矢 修一
村田 耕一

○多機能よろず茶屋設置事業について

問 設置には運営主体となる地域の方の意識の醸成や人材の確保が不可欠だと思いが、体制が十分に整っていない地域ではどのように進めていくのか。

答 地域包括ケアの推進には住民主体の支え合いが非常に重要であることを、地域住民にきめ細かく、粘り強く啓発し、理解を深めていくことで設置の機運を醸成していく。また、人材不足等により体制が整いにくい地域においては、3人以上のグループで始めることができる在宅での介護サポーター活動等を推奨することから、地域の担い手が経験を重ねる中で多機能よろず茶屋の設置につなげていく。さらに、多機能よろず茶屋支援コーディネーターの活用や、市の総合ボランティアセンターと連携するほか、地域団体にも協力をお願いしながら人材を確保していく。

公明党

下畑 健二

○「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について

問 競技会場付近の交通渋滞対策をどのように考えているのか。

答 選手、監督については、バスやタクシーによる計画輸送を考慮しており、渋滞を避けるバス輸送ルートを設定していく。また、一般観覧者には、公共交通機関の利用やパークアンドバスライドの利用を促し、競技会場からおおむね2km未満の臨時駐車場からは徒歩による移動をお願いしたいと考えている。

日本共産党議員団

西村 公子

○ガス・水道・下水道の各事業経営戦略について

問 水道料金の値上げについて、パブリックコメントだけではなく、市民アンケートなどを行って、料金制度審議会に市民の声を反映させることが必要ではないか。

答 パブリックコメントでの意見や、公募で選出した水道モニターの見解などを来年度の料金制度審議会に提示していきたい。

(3月定例会) 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
		3月22日	原案可決	
第 1 号議案	平成29年度福井市一般会計予算	3月22日	原案可決	●
第 2 号議案	平成29年度福井市国民健康保険特別会計予算	〃	〃	●
第 3 号議案	平成29年度福井市国民健康保険診療所特別会計予算	〃	〃	
第 4 号議案	平成29年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃	●
第 5 号議案	平成29年度福井市介護保険特別会計予算	〃	〃	●
第 6 号議案	平成29年度福井市競輪特別会計予算	〃	〃	●
第 7 号議案	平成29年度福井市簡易水道特別会計予算	〃	〃	●
第 8 号議案	平成29年度福井市宅地造成特別会計予算	〃	〃	●
第 9 号議案	平成29年度福井市中央卸売市場特別会計予算	〃	〃	●
第 10 号議案	平成29年度福井市駐車場特別会計予算	〃	〃	●
第 11 号議案	平成29年度福井市集落排水特別会計予算	〃	〃	●
第 12 号議案	平成29年度福井市地域生活排水特別会計予算	〃	〃	●
第 13 号議案	平成29年度福井市福井駅周辺整備特別会計予算	〃	〃	●
第 14 号議案	平成29年度福井市下水道事業会計予算	〃	〃	●
第 15 号議案	平成29年度福井市ガス事業会計予算	〃	〃	●
第 16 号議案	平成29年度福井市水道事業会計予算	〃	〃	●
第 17 号議案	福井市観光・文化施設における共通観覧券の発行に関する条例の制定について	〃	〃	
第 18 号議案	福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 19 号議案	福井市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び福井市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 20 号議案	福井市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 21 号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	〃	〃	●
第 22 号議案	福井市子ども医療費の助成に関する条例及び福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 23 号議案	福井市認定こども園設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第 24 号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃	
第 25 号議案	福井市中小企業者等の融資に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 26 号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第 27 号議案	福井市消防団条例の一部改正について	〃	〃	
第 28 号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	〃	〃	
第 29 号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 118 号議案	平成28年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第 119 号議案	平成28年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	
第 120 号議案	平成28年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	
第 121 号議案	平成28年度福井市簡易水道特別会計補正予算	〃	〃	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第122号議案	平成28年度福井市宅地造成特別会計補正予算	3月22日	原案可決	●
第123号議案	平成28年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算	〃	〃	●
第124号議案	福井市個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部改正について	〃	〃	●
第125号議案	福井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例及び福井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第126号議案	福井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第127号議案	土地の取得について（駐車場整備用地）	〃	〃	●
第128号議案	土地の取得について（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）用地）	〃	〃	
第129号議案	市道の路線の廃止について	〃	〃	
第130号議案	市道の路線の認定について	〃	〃	
第131号議案	字の区域の変更について	〃	〃	
第33号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	2月21日	受理	
市会案第12号	参議院議員選挙制度における合区の解消を求める意見書について	3月22日	原案可決	

賛否が分かれた議案一覧

賛…賛成

反…反対

※原則議長(皆川 信正)は採決に加わりません。

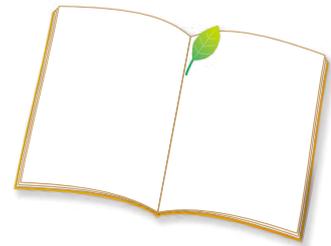
議案番号	審議結果	一真会											志政会							市民クラブ					公明党		日本共産党 本党議員団							
		皆川信正	見谷喜代三	今村辰和	堀江廣海	奥島光晴	谷本忠士	泉和弥	田中義乃	八田一以	池上優徳	福野大輔	加藤貞信	石丸浜夫	青木幹雄	野嶋祐記	伊藤洋一	藤田諭	後藤裕幸	水島秀晃	瀧波滋	近藤實	吉田琴一	堀川秀樹	中村綾菜	玉村正人	片矢修一	村田耕一	下畑健二	島川由美子	菅生敬一	西村公子	鈴木正樹	
第1号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第2号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第4号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第5号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第6号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第7号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第8号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第9号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第10号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第11号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第12号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第13号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第14号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第15号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第16号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第21号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第23号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第118号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第122号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第123号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第124号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第125号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第126号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第127号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反

議会日誌 (平成29年1～3月)

1月16日	競輪事業対策特別委員会視察(～17日)
18日	競輪事業対策特別委員会視察(～19日)
20日	議会運営委員会
26日	全国競輪主催地議会議長会役員会(山口県防府市)
2月2日	全国広域連携市議会協議会第48回総会(東京都)
7日	福井県市議会議長会定期総会(大野市)
9日	全国市議会議長会第206回理事会、第102回評議員会(東京都)
	北信越市議会議長会理事会(東京都)
13日	競輪事業対策特別委員会
14日	議員全員協議会、議会運営委員会
15日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
	定例福井県市町総合事務組合議会
16日	福井県自治会館組合議会定例会
	福井県市町振興協合理事会
3月24日	福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
27日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第165回定例会(あわら市)

3月定例会

2月21日	本会議
22日	議会運営委員会
27日	本会議(一般質問)
28日	本会議(一般質問)
3月1日	本会議(一般質問)
2日	総務委員会、建設委員会
6日	教育民生委員会、経済企業委員会
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
17日	議会運営委員会
22日	議員全員協議会、本会議



競輪事業対策特別委員会の行政視察

委員が2方面にわかれて県外の先進地を視察しました。視察先は次のとおりです。

方面	開催日	視察先
関東方面	1月16日(月)～17日(火)	茨城県 取手競輪場 ・競輪事業の経営改善に向けた取り組みについて ・特別競輪開催に係る取り組みについて
		神奈川県 川崎競輪場 ・競輪事業の経営改善に向けた取り組みについて ・競輪場施設の計画的な整備について
九州方面	1月18日(水)～19日(木)	福岡県 久留米競輪場 ・競輪事業の経営改善に向けた取り組みについて ・特別競輪開催に係る取り組みについて
		佐賀県 武雄競輪場 ・競輪事業の経営改善に向けた取り組みについて ・競輪場施設改修の取り組みについて

編集後記

3月定例会では22人の議員が一般質問を行いました。新年度予算をはじめ、人口減少社会への対応や子育て、介護、防災対策などさまざまな角度から議論がかわさ

れました。一方、議会基本条例に基づいて、議会報告会を開催していますが、情報公開と市民参画が進むよう、さらに取り組みが必要だと感じています。市民のみなさんのご意見やご要望をお寄せいただきますようお願いいたします。(西村・菅生)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

次回は6月定例会

です
日程はホームページで掲載中です

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議	座席：91席 車イス用：6席
常任委員会	総務・建設・教育民生・経済企業
議会運営委員会	
特別委員会	予算・競輪事業対策
議員全員協議会	

お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506